

# 学校だより



令和5年4月28日  
横浜市立二谷小学校  
校長 矢島 孝幸

## 「かかわりを通して育つ力」

学校長 矢島 孝幸

1年生の教室へ行くと、たくさん子どもたちが「校長先生、ぜっこうちょう。」と声をかけてくれます。朝、正門が開くと、児童昇降口まで走りながら、同じ言葉をかけてくれる子どももいます。廊下ですれ違っても同じ言葉をかけられます。1年生が入学してから、気分が毎日『絶好調(校長?)』な気がします。子どもたちからもらう元気な言葉や笑顔は、私たちにとって元気の源です。私たちは、子どもたちからパワーをもらっています。もらうばかりではいけないので、子どもたちに『元気』『安心』を与えられるよう、努めてまいります。



本校では、異学年交流(ペア学年)を大切にしています。他学年の仲間とのかかわりを通して、相手を『思いやる心』を育てること、相手意識をもつことで、『立場に応じた自己の言動を考える』ことをねらいとしています。また、上の学年の子どもたちにとっては、下の学年から頼りにされることで、自信をもち『自己肯定感』が高まります。下の学年の子どもたちは、頼りになる先輩たちとかかわることで、未来の自分自身の姿を思い描くことができます。異学年(ペア学年)による交流は、子どもたちの成長にとっても価値ある活動です。6年生は給食当番で1年生のお手伝いをしています。給食を盛りつけたり、トレイにのせる食器を整えたり、一生懸命にお世話をしている姿に感心します。何よりも素晴らしいのは、机で待っている1年生に困っていることや分からないことがないか優しく話しかけて、教えている姿です。腰をかがめて寄り添っている様子を見ると、さすが二谷小のリーダーと感じさせてくれます。このかかわりをきっかけとして、1年生にとっては**憧れの6年生・大好きな6年生**という存在になるでしょう。6年生にとっては、それが自信となり、さらに頑張ろうとする気持ちが高まると思います。お互いにとってより良い関係が生まれる交流をたくさん創っていきたいと思います。ペア学年だけでなく、いろいろな『かかわり』を通して、子どもたちの**コミュニケーション力**と心<sup>こころ</sup>を育てていきます。



あいにくの雨模様で体育館への避難となりましたが、今年度初めての避難訓練を行いました。静かに並んで整然と避難する子どもたちの様子を見て感心しました。4月がスタートしたばかりの時期に、しっかりと並び、落ち着いた行動をとっている二谷小の子どもたちは本当に素晴らしいです。いつでも、どのような場面でも同じような行動ができる子どもたちとなるよう育てていきたいと思います。

4月の授業参観・懇談会の日程が3月の学校だよりでお知らせした日程から変更となり、ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。今後は変更が生じた際は、速やかにお知らせいたします。